

雪の大谷歩き ミニ検定挑戦

体験型に90人



富山の自然や歴史などの理解度を問う郷土検定「第14回越中富山

ふるさとチャレンジ(越中チャレンジ)」の体験型検定の部「雪の大谷体験バスツアー」が19日行われ、90人が立山・黒部アルペンルート「雪の大谷」などを巡り、雄大な立

山の自然に理解を深めた。県や北日本新聞社などで行う実行委員会主催。



雪の大谷について説明を聞く参加者。立山・雪の大谷

雪の大谷では、立山カルデラ砂防博物館職員から説明を受けながら散策。高さ約13・5層の雪の壁を見上げ、驚きの声を上げる姿もあった。同館も見学し、立山カルデラと砂防について学んだ。最後に立山の自然や文化をテーマにした30問のミニ検定に挑戦した。

ミニ検定に合格すると11月24日の本検定で10点、複数回参加して合格すると最大20点が加点される。体験型検定は9月ごろまでに数回行い、参加者は本検定の受検料が半額になる。

本検定は県内3会場と東京の計4会場で行われる。問い合わせは実行委事務局の北日本新聞社営業局、電話076(445)3336。